

## 高齢者一般調査

②

調査票のご記入に先立ちまして、おたずねします。

※以下の質問で、「あなた」とはあて名の方ご本人のことです。お間違えのないように教えてください。

F1 あなたは現在どちらにいますか。(1つに〇)

- |          |                |
|----------|----------------|
| 1. 自宅    | 3. 病院等に入院している  |
| 2. 市外に転出 | 4. その他〔具体的に： 〕 |

「2. 市外に転出」をお選びになった場合は、ここまでのご記入で結構です。ご返送ください。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

F2 この調査票はどなたがご記入されますか。(1つに〇)

- |           |        |                |
|-----------|--------|----------------|
| 1. あて名ご本人 | 2. ご家族 | 3. その他〔具体的に： 〕 |
|-----------|--------|----------------|

あなた(あて名ご本人)のことをおたずねします

F3 あなたの性別は次のうちどれですか。(1つに〇)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F4 あなたの年齢は次のうちどれですか。(1つに〇)

\*平成25年9月1日現在の年齢でお答えください。

- |           |           |           |          |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 65～69歳 | 3. 75～79歳 | 5. 85～89歳 | 7. 95歳以上 |
| 2. 70～74歳 | 4. 80～84歳 | 6. 90～94歳 |          |

F5 あなたと同居している方はどなたですか。(いくつでも〇)

\*2世帯住宅は同居としてお答えください。

\*配偶者の親族を含めてお答えください。

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| 1. ひとり暮らし(自分のみ)      | 4. 父、母         |
| 2. 配偶者(夫または妻)        | 5. 兄弟姉妹        |
| 3. 息子、娘(息子の妻、娘の夫も含む) | 6. その他〔具体的に： 〕 |

F5-1 へ

F5-1 F5で「2. 配偶者（夫または妻）」～「6. その他」と答えた方におたずねします。あなたと同居している方は次のどちらですか。（1つに〇）

\*平成25年9月1日現在の年齢でお答えください。

1. 同居者全員が65歳以上                      2. 64歳以下の同居者がいる

F5-2 F5で「2. 配偶者（夫または妻）」と答えた方におたずねします。あなたの配偶者の年齢は次のうちどれですか。（1つに〇）

\*平成25年9月1日現在の年齢でお答えください。

1. 65歳未満                                      5. 80～84歳  
2. 65～69歳                                    6. 85～89歳  
3. 70～74歳                                    7. 90～94歳  
4. 75～79歳                                    8. 95歳以上

F5-3 F5で「2. 配偶者（夫または妻）」～「6. その他」と答えた方におたずねします。日中、あなたはひとりであることが多いですか。（1つに〇）

1. ひとりであることが多い                      2. ひとりであることは少ない

F5-4 F5で「1」「2」「4」「5」「6」（子どもさんと同居している方以外）と答えた方におたずねします。

一番近くに住んでいるお子さんとの距離はどのくらいですか。時間は、ふだん行き来する方法でお答えください。（1つに〇）

1. となり                                      4. 20～30分未満                      7. 子どもはいない  
2. 10分未満                                    5. 30～1時間未満  
3. 10～20分未満                              6. 1時間以上

F6 あなたはどちらにお住まいですか。お住まいの町名から地区名をお答えください。（1つに〇）

1. 第1地区	多磨町、朝日町、紅葉丘、白糸台1～3丁目、若松町、浅間町、緑町
2. 第2地区	白糸台4～6丁目、押立町、小柳町、八幡町、清水が丘、是政
3. 第3地区	天神町、幸町、府中町、寿町、晴見町、栄町、新町
4. 第4地区	宮町、日吉町、矢崎町、南町、本町、宮西町、片町
5. 第5地区	日鋼町、武蔵台、北山町、西原町、美好町1～2丁目、本宿町3～4丁目、西府町3～4丁目、東芝町
6. 第6地区	美好町3丁目、分梅町、住吉町、四谷、日新町、本宿町1～2丁目、西府町1～2、5丁目



問2 あなたには、「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」がありますか。（それぞれ1つに○）

	いる	いない	よくわからない
①かかりつけ医	1	2	3
②かかりつけ歯科医	1	2	3
③かかりつけ薬局	1	2	3

\* ここでいう「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」とは、あなたの生活の状況などを理解していて、健康や病気のことを日ごろから、気軽に相談できるような身近な開業医、歯科医、薬局をさします。

問3 あなたの健康状態はいかがですか。現在の状況に最も近いものをお選びください。（1つに○）

1. とても健康である
2. まあまあ健康である
3. あまり健康でない
4. 健康でない

問4 あなたの身長体重を教えてください。（数字を記入）

身長  cm      体重  kg

問5 府中市では、みなさまが介護状態にならないため、さまざまな介護予防事業を行っています。以下のようなサービスの利用状況、今後の利用意向についておたずねします。(サービスごとに、「利用状況」、「利用意向」に1つずつ〇)

	利用状況				利用意向		
	利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	利用したい	利用したくない	わからない
①心と体の健康チェック	1	2	3	4	1	2	3
②介護予防に関する講座	1	2	3	4	1	2	3
③介護予防教室 (筋力向上、転倒予防)	1	2	3	4	1	2	3
④介護予防教室 (認知症予防)	1	2	3	4	1	2	3
⑤介護予防教室 (栄養改善、口腔ケア)	1	2	3	4	1	2	3
⑥介護予防教室 (うつ予防)	1	2	3	4	1	2	3
⑦介護予防教室 (尿失禁予防)	1	2	3	4	1	2	3
⑧地域デイサービス (ほっとサロン)	1	2	3	4	1	2	3
⑨介護予防推進センター *1	1	2	3	4	1	2	3
⑩いきいきハウス *2	1	2	3	4	1	2	3

問5-1 へ進む

\*1 「介護予防推進センター」は分梅町にある「いきいきプラザ」内にあり、介護予防事業を行っています。  
\*2 「いきいきハウス」は「介護予防推進センター」にあって、ひとり暮らしの高齢者などが生活リズムを整えるため、7日を限度に滞在することができる施設です。

問5-1 介護予防に取り組んだ結果、具体的な成果がありましたか。  
(いくつでも〇)

1. 通院回数が減った
2. 薬を飲む量が減った
3. 体力が向上した
4. 気持ちが前向きになり生活にはりがでた
5. 他の人と交流でき、外出の回数が増えた
6. 介護予防に積極的に取り組むようになった
7. 具体的に成果はなかった
8. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_〕
9. 特にない

問6 今後、介護予防に望まれることは何ですか。(いくつでも○)

1. 介護予防事業を継続的に実施する
2. 誰でも気軽に参加しやすいように介護予防事業の内容を改善する
3. 介護予防の自主グループなど市民による自主的な運動に広げる
4. 地域住民による声かけや誘い合いを促進する
5. 介護予防は効果がないので必要ない
6. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_ 〕
7. 特にない

問7 あなたの介護予防に対する考え方や実際の行動は次のうちどれですか。

(1つに○)

1. 現在、介護予防に全く取り組んでおらず、あまり興味もない
2. 現在、介護予防に取り組んでいないが興味はあり、近い将来何かに取り組もうと思っ  
ている
3. 現在、介護予防にたまに取り組んでいるが、いつもというわけではない
4. 現在、介護予防に積極的に取り組んでいるが、まだ始めて6ヶ月以内である
5. 現在、介護予防に積極的に取り組んでおり、6ヶ月以上続けている

問8 あなたは、介護予防のためにご自身で何かしていることはありますか。

(1つに○)

1. している
2. 興味はある
3. 何もしていない(→問9へ進む)

問8-1 問8で「1」又は「2」とお答えの方におたずねします。具体的に何を  
していますか(興味がありますか)。(いくつでも○)

1. ウォーキング、ランニング、体操等の運動
2. 家事の合間にストレッチ等をする
3. 食事の回数や量、栄養バランスなどに気を配る
4. 喫煙回数を減らしている(禁煙した)
5. 口の中の健康を保つよう心がけている
6. 飲酒回数や飲酒量を減らしている
7. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_ 〕

## 認知症についておたずねします

**問9** 高齢化の進行で、「認知症」になる人の割合が高くなることが予想されています。あなたはこの認知症について、どのようなことをご存知ですか。

(いくつでも○)

1. 認知症は、脳の病気を原因疾患とし誰にでも起こりうるものであること
2. 認知症の症状には、もの忘れから来る中核症状と、身体状況や環境に影響される周辺症状とがあること
3. 認知症の抑制には、食生活や生活習慣等改善の効果があると認められていること
4. 認知症は高齢期だけでなく、若年期や初老期でも発症する（若年性認知症）こと
5. 認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができること
6. どれも知らなかった

**問10** 市では、認知症予防について啓発活動を実施していますが、参加したことがありますか、また今後参加したいですか。( (1) (2) それぞれ1つずつ○)

	参加したことがある	現在参加している	知っているが参加したことがない	知らない	参加したくない
(1) 認知症サポーターささえ隊養成講座	1	2	3	4	5
(2) 認知症に関する講演会やシンポジウム	1	2	3	4	5

**問11** 認知症になっても、住み慣れた地域で生活を送れるためには何が必要だとお考えですか。(いくつでも○)

1. 認知症についての啓発活動の充実
2. 認知症の相談窓口や相談体制の整備
3. 地域による見守りや支援体制の充実
4. 認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実
5. 認知症対応型通所介護（認知症高齢者が施設に通い本人にあった活動に参加する）・ショートステイなどの整備
6. グループホーム（認知症高齢者が共同生活する住居）などの専門的な施設の整備
7. その他〔具体的に： 〕

問12 認知症になっても、住み慣れた家で暮らし続けたいと思いますか（1つに○）

1. どうしても住み慣れた家で暮らし続けたい
2. できることならば住み慣れた家で暮らし続けたい
3. 適切な施設があれば入所したい
4. わからない

地域生活と日頃の活動についておたずねします

問13 あなたは、地域活動やボランティア活動、お住まいの地域の行事にどの程度参加していますか。（1つに○）

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 1. よく参加している | 3. あまり参加していない |
| 2. 時々参加している | 4. 全く参加していない  |

問 13-1 問 13 で「1.よく参加している」または「2. 時々参加している」と答えた方におたずねします。どのような活動に参加していますか。  
(いくつでも○)

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 町内会、自治会などの活動 | 6. 防災訓練や交通安全運動          |
| 2. 子ども会やPTAの活動  | 7. お祭りや運動会などのレクリエーション活動 |
| 3. 老人クラブの活動     | 8. その他                  |
| 4. 婦人会の活動       | 〔具体的に： 〕                |
| 5. 地域でのボランティア活動 |                         |

問14 あなたが今後、お住まいの地域で活動する場合、どのような活動に参加したいと思いますか。（いくつでも○）

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 1. 自分の楽しみが得られる活動     | 7. 隣近所の人と協力しあえる活動      |
| 2. 興味ある知識や教養が得られる活動  | 8. 家庭生活を豊かにする家族ぐるみの活動  |
| 3. 自分の知識や経験をいかせる活動   | 9. 地域や社会に役立つ活動         |
| 4. 生きがいや健康づくりができる活動  | 10. 行政への協力や地域自治にかかわる活動 |
| 5. 余暇時間を充実させる活動      | 11. その他〔具体的に： 〕        |
| 6. 仲間づくりや親しい友人ができる活動 | 12. 特にない               |



問15 あなたは、お住まいの地域で活動する場合、どのような環境や条件が必要だと思いますか。(3つまで〇)

1. 身近なところや便利なところに活動の場があること
2. 夜間や休日または平日昼間など、自分にあった時間帯に参加できること
3. 友人や家族と一緒に参加できること
4. 身近な団体や活動内容に関する情報が手に入ること
5. 活動資金の補助・援助があること
6. 活動に参加することでメリットが得られる(報酬など) こと
7. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_ 〕
8. 条件によらず参加したくない

問16 あなたは、地域で安心して生活していくために、住民相互の自主的な協力関係が必要だと思いますか。(1つに〇)

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1. 必要だと思う     | 3. あまり必要だとは思わない |
| 2. ある程度必要だと思う | 4. 必要だとは思わない    |
|               | 5. わからない        |



問 16-1 問 16 で「1.必要だと思う」または「2.ある程度必要だと思う」と答えた方におたずねします。住民の協力関係を築くためにはどのようなことが必要だと思いますか。(3つまで〇)

1. 自ら進んで日頃から住民相互のつながりをもつように心がけること
2. 町内会・自治会が中心となって交流活動を進めること
3. ボランティア団体やNPO(民間非営利組織)の活動を活発にすること
4. 地域の人が気軽に集まる場所や地域活動の拠点となる場を作ること
5. 地域の企業や団体などに地域活動への参加を呼びかけること
6. 地域活動に関する具体的な情報を広く紹介すること
7. 地域活動を担う、リーダーとなる人材を育成すること
8. 行政や社会福祉協議会が地域活動への支援やコーディネートをすること
9. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_ 〕
10. わからない

問17 あなたは現在、収入のある仕事についていますか。(1つに〇)

1. 仕事についている
2. 仕事をしたいが、からだの具合が悪いので働いていない
3. 仕事をしたいが、仕事がないので働いていない → 問 17-1 へ
4. 仕事をする意思がないので、働いていない
5. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_ 〕

問 17-1 問 17で「3.仕事をしたいが、仕事がないので働いていない」と答えただ方におたずねします。あなたはどのようなかたちで働きたいと考えていますか。(1つに○)

1. 自分の知識や技能をいかして、収入の多い仕事をしたい
2. 自分の知識や技能をいかした仕事ができれば、収入は少なくてもよい
3. 地域に貢献できる仕事ができれば、収入は少なくてもよい
4. 自分の知識や技能をいかした活動ができれば、収入はなくてもよい
5. 地域に貢献できる仕事ができれば、収入はなくてもよい
6. その他〔具体的に： 〕

問18 **府中市には、高齢者の経験や技能をいかして働ける場「シルバー人材センター」があります。「シルバー人材センター」に登録したことがありますか。(1つに○)**

1. 登録している

2. 登録していたことがある
  3. 制度を知っているが登録していない
  4. 制度を知らないので登録していない

問 18-1 問 18で「2」～「4」とお答えの方におたずねします。今後、登録したいですか。(1つに○)

1. 登録したい
2. 登録したいとは思わない
3. わからない

問19 あなたは、隣近所の人と、どの程度おつきあいしていますか。(1つに○)

1. 個人的なことを相談し合える人がいる
  2. さしさわりのないことなら、話せる相手がいる
  3. 道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる
  4. ほとんど近所づきあいをしない
- } →問 20 へ  
} →問 19-1 へ

問 19-1 問 19 で「3. 道で会えば、あいさつぐらいはする」、または「4. ほとんど近所づきあいをしない」と答えた方におたずねします。その主な理由を次の中からお答え下さい。(2つまで○)

1. 仕事や家事で忙しく時間がないから
2. 引っ越してきて間もないから
3. 普段つきあう機会がないから
4. 同世代の人が近くにいないから
5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから
6. あまりかかわりをもたたくないから
7. その他〔具体的に： 〕

問20 あなたは、近所づきあいや地域住民同士の交流について、どの程度必要だとお考えですか。(1つに○)

1. 普段からの交流は必要だ
2. 多少面倒でも普段から交流しておいた方がよい
3. 日ごろの交流は面倒なのであまりしたくない
4. 助け合いは必要だと思わないが、地域で交流することは大切だ
5. 気の合った仲間やグループで交流し、その中で助け合えばよい
6. 地域での助け合いや日ごろの交流は必要ない
7. その他〔具体的に： 〕

問21 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちどんな手助けをしてほしいですか。(3つまで○)

- |                  |  |
|------------------|--|
| 1. 安否確認など        | 7. 外出の付添い  |
| 2. 趣味など世間話の相手    | 8. 災害時の手助け   |
| 3. 介護などの相談相手     | 9. ゴミ出し・雨戸の開け閉め                                    |
| 4. 炊事・洗濯・掃除などの家事 | 10. 電球交換や簡単な大工仕事                                   |
| 5. ちょっとした買い物     | 11. その他〔具体的に： <span style="float: right;">〕</span> |
| 6. 子どもの預かり       | 12. 特になし   |

問22 (高齢者のみならず) 地域住民が安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。(3つまで○)

- |                  |                                      |
|------------------|--------------------------------------|
| 1. 安否確認など        | 7. 外出の付添い                            |
| 2. 趣味など世間話の相手    | 8. 災害時の手助け                           |
| 3. 介護などの相談相手     | 9. ゴミ出し・雨戸の開け閉め                      |
| 4. 炊事・洗濯・掃除などの家事 | 10. 電球交換や簡単な大工仕事                     |
| 5. ちょっとした買い物     | 11. その他〔具体的に：                      〕 |
| 6. 子どもの預かり       | 12. 特にない                             |

問23 あなたは、ふだんの生活で、家族以外に若い世代との交流はありますか。  
(1つに○)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. よくある  | 3. ほとんどない |
| 2. たまにある | 4. まったくない |

問24 あなたは、若い世代との交流があった場合、どうされますか。(1つに○)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 積極的に参加したい   | 4. まったく参加したくない |
| 2. できるかぎり参加したい | 5. わからない       |
| 3. あまり参加したくない  |                |

### 災害時のことについておたずねします

問25 あなたは、災害時に避難を助けたり、避難状況を確認するために、市役所、消防署、警察署や自治会へ、あなたの住所・氏名・連絡先などを事前に知らせておくことについて、どう思いますか。(1つに○)

1. 最低限の情報ならば、知らせておいてもいい
2. 知らせたくない
3. わからない

問26 市では、平成22年1月より「災害時要援護者事業」を開始しましたが、ご存じですか。(1つに○)

1. 事業の内容まで知っている
2. 事業の名前を聞いたことがある
3. 知らない
4. わからない

問27 あなたは、大震災のような災害にあったとしたら、あなたがお住まいの地域でどのような活動をしたいと思いますか。(いくつでも○)

- |                   |           |
|-------------------|-----------|
| 1. ひとり暮らしの高齢者へ声かけ | 7. 行政との連絡 |
| 2. 障がい者への声かけ      | 8. けが人の救助 |
| 3. 情報の提供          | 9. その他    |
| 4. 水や食料の提供        | 〔具体的に： 〕  |
| 5. 安全な場所への誘導      |           |
| 6. 避難所での支援活動      |           |

### 情報についておたずねします

問28 あなたは、健康や介護予防、福祉サービス、地域の活動などに関する情報をどこから(誰から)入手していますか。(いくつでも○)

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. 市の広報紙・ホームページ     | 10. 民生委員・児童委員     |
| 2. 市の相談窓口           | 11. 家族や親戚         |
| 3. 地域包括支援センター*      | 12. 友人・知人、近隣の人    |
| 4. 保健所・保健センター       | 13. 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ |
| 5. 社会福祉協議会          | 14. 講演会、講習会等      |
| 6. いきいきプラザ          | 15. インターネット、SNS   |
| 7. 病院・診療所・歯科医・薬剤師など | 16. その他           |
| 8. ホームヘルパー          | 〔具体的に： 〕          |
| 9. ケアマネジャー          | 17. 特になし          |

問29 あなたは、暮らしの問題や福祉について、困りごとがあったとき、どこに(誰に)相談しますか。(いくつでも○)

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| 1. 市の相談窓口          | 8. 民生委員・児童委員   |
| 2. 地域包括支援センター*     | 9. 家族や親族       |
| 3. 保健所・保健センター      | 10. 友人・知人、近隣の人 |
| 4. 社会福祉協議会         | 11. その他        |
| 5. 病院・診療所の医師・看護師など | 〔具体的に： 〕       |
| 6. ホームヘルパーなど       | 12. 相談できる人がいない |
| 7. ケアマネジャー         |                |

\* 地域包括支援センターは、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーが中心となって、介護予防事業のマネジメント、総合的な相談・支援、虐待防止などの権利擁護などを行います。

## 高齢者保健福祉サービスについておたずねします

問30 市では介護保険以外にも様々な高齢者保健福祉サービスを行っています。以下のようなサービスの利用状況、今後の利用意向についておたずねします。(サービスごとに「利用状況」「利用意向」に1つずつ〇)

事業名	利用状況				利用意向			
	利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	利用したい	利用したくない	わからない	
①入浴券支給	ひとり暮らし等の人で自宅に風呂設備のない方に無料入浴券を配布する	1	2	3	4	1	2	3
②家具転倒防止器具の取付	ひとり暮らし等の人が家庭内で所有する家具に家具転倒防止器具を取り付ける	1	2	3	4	1	2	3
③「食」の自立支援サービス	ひとり暮らし等の人に、調理した食事を自宅に届けて安否確認を行う。	1	2	3	4	1	2	3
④生活援助員派遣	ひとり暮らし等の人に、家事援助を中心とした生活援助員を派遣する	1	2	3	4	1	2	3
⑤自立支援ショートステイ	月7日を上限に養護老人ホームに滞在し健康管理や食事提供などを行う	1	2	3	4	1	2	3
⑥高齢者医療ショートステイ	月7日を上限に市内の医療機関に入院し療養管理・健康管理を行う	1	2	3	4	1	2	3
⑦入浴サービス	在宅サービスセンターで月3回の入浴が受けられる	1	2	3	4	1	2	3
⑧日常生活用具給付とレンタル	一時的に身体機能が低下している方に用具などを貸与または給付する	1	2	3	4	1	2	3
⑨はいかい高齢者探索サービス	はいかい探索システムを用い、行方不明時に早期に居場所を発見し、事故を防止する	1	2	3	4	1	2	3
⑩日常生活用品(おむつ)の助成	おむつが必要な方が布または紙おむつのどちらかを自宅で受け取れる	1	2	3	4	1	2	3
⑪車いす福祉タクシー	リフト付タクシーによる通院を年間24回を限度に利用できる	1	2	3	4	1	2	3
⑫寝具乾燥サービス	月1回、寝具を自宅まで受け取りに行き、その日のうちに乾燥して返す	1	2	3	4	1	2	3
⑬訪問理髪サービス	自宅に月1回理容師が訪問して理髪が受けられる	1	2	3	4	1	2	3

\* サービスの利用に関しては、利用条件のあるものもあります。

問31 今後、市が取り組む保健福祉サービスとして、次のうちどれを優先して充実す

べきだとお考えですか。(3つまで〇)

1. 生きがいづくりを推進すること(ボランティア、文化・スポーツ活動の促進など)
2. 高齢者が働く場所を確保すること
3. 世代間の交流・相互理解を促進すること
4. 介護予防サービスを充実させること
5. 在宅福祉サービスを充実させること
6. 高齢者向けの住宅を整備したり、住宅改修を支援すること
7. 特別養護老人ホームや老人保健施設など入所できる施設を整備すること
8. 認知症など病気や障害を持つ高齢者への対策を充実すること
9. 家族介護者への支援制度を充実すること
10. 健康教育、健康相談、健康診査等の保健事業や医療体制を充実させること
11. 健康づくりを推進すること(健康教室の開催・スポーツ活動の促進など)
12. 保健・福祉関係の相談窓口を充実させること
13. 保健・福祉サービスに関する人材を育成すること(保健師、介護職員など)
14. ボランティアの育成、NPO法人の支援など民間活動を支援すること
15. 道路の段差解消や公共的な建物へのエレベータの設置など、高齢者にやさしいまちづくりを推進すること
16. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_ 〕
17. 特にない

## 介護保険についておたずねします

問32 あなたの保険料段階は次のうちどれですか。(1つに〇)

1. 第1段階 (生活保護受給者及び市民税世帯非課税で老齢福祉年金受給者)
2. 第2段階 (市民税世帯非課税者で、合計所得金額と課税年金収入金額の合計が80万円以下の者)
3. 特例第3段階 (市民税世帯非課税者で、合計所得金額と課税年金収入金額の合計が80万を超え120万円以下の者)
4. 第3段階 (市民税非課税者で第2段階または特例第3段階に該当しない者)
5. 特例第4段階 (市民税本人課税者で、合計所得金額と課税年金収入金額の合計が80万円以下の者)
6. 第4段階 (市民税本人課税者で特例第4段階に該当しない者)
7. 第5段階 (市民税本人課税者(合計所得金額125万円未満))
8. 第6段階 (市民税本人課税者(合計所得金額125万円以上190万円未満))
9. 第7段階 (市民税本人課税者(合計所得金額190万円以上400万円未満))
10. 第8段階 (市民税本人課税者(合計所得金額400万円以上600万円未満))
11. 第9段階 (市民税本人課税者(合計所得金額600万円以上800万円未満))
12. 第10段階 (市民税本人課税者(合計所得金額800万円以上1,000万円未満))
13. 第11段階 (市民税本人課税者(合計所得金額1,000万円以上2,000万円未満))
14. 第12段階 (市民税本人課税者(合計所得金額2,000万円以上))
15. わからない

問33 あなたは今後、介護が必要になったら、介護保険サービスを利用したいですか。  
(1つに〇)

1. ぜひ利用したい
2. 条件が合えば利用したい →問33-1へ
3. 利用したくない
4. わからない

問33-1 問33で「2.条件が合えば利用したい」と答えた方におたずねします。  
具体的にどのような条件がそろえば利用したいですか。(いくつでも〇)

1. 利用料や保険料の負担が軽くなれば利用したい
2. よいサービスがあれば利用したい
3. よいサービス事業者がいれば利用したい
4. よいケアマネジャーがいれば利用したい
5. 家族が賛成してくれれば利用したい
6. その他〔具体的に： 〕



問34 介護保険サービスでは以下のようなサービスを行っています。  
 これらのサービスの認識度、今後の利用意向についておたずねします。  
 (サービスごとに「認識度」「利用意向」に1つずつ〇)

事業名			認 識 度		利 用 意 向	
			知って いる	知らない	利用 したい	利用した くない
在宅サービス	①訪問介護	家事など身の周りの援助と身体介護を行う	1	2	1	2
	②訪問看護	看護師等による家庭を訪問する看護	1	2	1	2
	③訪問リハビリテーション	理学療法士・作業療法士などが家庭を訪問して行う機能訓練	1	2	1	2
	④訪問入浴介護	入浴車により家庭を訪問する入浴介護	1	2	1	2
	⑤居宅療養管理指導	医師や看護師、歯科医師、管理栄養士等が訪問して行う療養上の管理指導	1	2	1	2
	⑥通所介護 (デイサービス)	デイサービスセンターなどでの入浴、レクリエーション、機能訓練	1	2	1	2
	⑦通所リハビリテーション (デイケア)	老人保健施設等での医療の管理下におけるリハビリテーション	1	2	1	2
	⑧短期入所生活介護 (ショートステイ)	特別養護老人ホーム等への短期間入所	1	2	1	2
	⑨短期入所療養介護 (ショートステイ)	老人保健施設等への短期間入所	1	2	1	2
	⑩特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム等)	有料老人ホーム、ケアハウス入所者への介護や日常生活上の世話	1	2	1	2
	⑪福祉用具の貸与	車いす等の貸出し	1	2	1	2
	⑫特定福祉用具販売	排泄等に用いられる用具を購入した場合 10 万円を限度に購入費を支給	1	2	1	2
	⑬住宅改修費の支給	手すりやスロープなど、住宅の小規模な改修費の支給	1	2	1	2
施設サービス	①介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	常時介護を必要とする65歳以上の高齢者が入所する施設	1	2	1	2
	②介護老人保健施設 (老人保健施設)	看護・介護・療養等の専門的なサービスや日常的なサービスを提供し、機能回復を目指す施設	1	2	1	2
	③介護療養型医療施設	医療や看護が可能な介護の体制を充実させた医療施設	1	2	1	2

問35 次のような地域密着型サービス<sup>(※)</sup>を知っていますか。また、利用したいと思  
いますか。(サービスごとに「認識度」と「利用意向」に1つずつ〇)

事業名		認 識 度		利 用 意 向	
		知って いる	知らな い	利用 したい	利用した くない
①夜間対応型 訪問介護	夜間帯の定期巡回の訪問介護と 利用者からの通報による随時対 応の訪問介護を組み合わせ提供 する。	1	2	1	2
②定期巡回・随時 対応訪問介護看護	日中・夜間を通じて、定期巡回と 利用者からの通報により随時対 応する訪問介護と訪問看護を組 み合わせて24時間サービスを 提供する	1	2	1	2
③認知症対応型 通所介護	認知症の居宅要介護者を対象と した通所介護サービスを提供す る	1	2	1	2
④小規模多機能型 居宅介護	「通い」を中心として、要介護者 の状態から、随時「訪問」や「泊 り」を組み合わせサービスを提供 する	1	2	1	2
⑤複合型サービス	小規模多機能型居宅介護と訪問 看護など、複数の既存のサービス を提供する	1	2	1	2
⑥認知症対応型 共同生活介護 (グループホーム)	地域のなかで中程度の認知症高 齢者が少数の家庭的な環境の中 で暮らす介護を提供する	1	2	1	2
⑦地域密着型 介護老人福祉施設 入所者生活介護	入居定員29人以下の小規模な 特別養護老人ホーム	1	2	1	2

(※)地域密着型サービスは、高齢者が住み慣れた地域での生活を継続することができるよう、  
身近な生活圏域(府中市の生活圏域は6つ)ごとにサービスの拠点をつくり、市町村ごとに  
行われるサービスです。

問36 あなたは、介護が必要になったとき、どこで生活したいと考えていますか。  
(1つに〇)

1. 家族などの介護を受けながら自宅で生活したい
2. 在宅サービスを受けながら自宅で生活したい
3. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい
4. 有料老人ホームに入居したい
5. グループホーム(少人数を単位とした小規模な共同住居)に入居したい
6. サービス付き高齢者向け住宅に入居したい
7. 自宅近くで様々なサービスが受けられる小さな施設などを利用しながら生活したい
8. その他〔具体的に： 〕
9. わからない

問37 「介護保険制度」全体をよりよくするため、市が力を入れるべきことは次のうちどれですか。(3つまで○)

1. サービス事業者の質を高めること
2. ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること
3. 市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設をふやすこと
4. 利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと
5. 介護保険についての市民向けの勉強会などを実施すること
6. 寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること
7. 高齢期に住み続けられる、すまいの施策を充実すること
8. 地域全体で介護を支援するしくみづくりを行うこと
9. 身近な地域でサービスが受けられる拠点をふやすこと
10. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所をふやすこと
11. 家族介護の負担を軽減する高年齢者保健福祉サービスを充実すること
12. 地域包括支援センターの機能を充実すること
13. 介護保険サービスをカバーする高年齢者保健福祉サービスを充実すること
14. 介護保険制度を使いやすいものにする
15. その他〔具体的に： 〕
16. わからない

### 高年齢者の権利擁護などについておたずねします

問38 高年齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口として以下のようなものがありますが、あなたの知っているものはありますか。(いくつでも○)

- |               |                         |
|---------------|-------------------------|
| 1. 成年後見制度     | 6. 社会福祉協議会（ふれあい福祉相談室など） |
| 2. 日常生活自立支援事業 | 7. 権利擁護センターふちゅう         |
| 3. 地域包括支援センター | 8. 消費生活相談室              |
| 4. 見守りネットワーク  | 9. 知っているものはない           |
| 5. 市役所の相談窓口   |                         |

問39 あなたのまわり（あなたご本人も含む）に、下の枠内のようなことでお困りと思われる方はいらっしゃいますか。（いくつでも〇）

- |           |                 |
|-----------|-----------------|
| 1. あなたご本人 | 5. 知人           |
| 2. 配偶者    | 6. 近隣の人         |
| 3. 子ども    | 7. その他〔具体的に： 〕  |
| 4. 親族     | 8. いない（→問30へ進む） |

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| ・金銭管理ができない             | ・福祉サービスの利用に対する苦情が言えない |
| ・悪質商法にだまされた            | ・土地の権利書など重要書類の管理ができない |
| ・行政や金融機関などへの窓口手続きができない |                       |

問 39-1 問 39 で「1」～「7」のいずれかをお答えの方におたずねします。それはどのような事例ですか。（いくつでも〇）

1. 金銭管理ができない
2. 悪質商法にだまされた
3. 行政や金融機関などへの窓口手続きができない
4. 福祉サービスの利用に対する意見が言えない
5. 土地の権利書など重要書類の管理ができない
6. その他〔具体的に： 〕

最後に、市への要望についておたずねします

問40 高齢者保健福祉や介護保険について、府中市への要望・意見や知りたい情報がありましたら、ご自由にお書きください。

## グループインタビューにご参加していただける方のみ お答えください

※府中市では、市民の皆様の声を反映した計画を策定するため、平成 25 年 12 月頃にグループインタビューの実施を予定しております。ご参加いただける場合は、お手数ですが、下記にお名前、住所、連絡先（電話番号、FAX 番号）をご記入ください。日時・場所等詳細が決まりましたら、あらためてご連絡させていただきます。なお、参加者が多数の場合は、お断りさせていただく場合もございますので、予めご了承ください。

お名前	
住所	
電話番号	
FAX 番号	

——ご協力ありがとうございました——